

固定資産税を減額します

～住宅のバリアフリー改修・省エネ改修～

バリアフリー改修

高齢者などが自宅で安心して生活を送れるように、バリアフリー改修を税制面で支援します。

対象となる家屋

新築から10年以上経過し、床面積が50㎡以上の住宅(賃貸住宅を除く)で、申告時まで次のいずれかのかたが居住している住宅。

- ・65歳以上のかた
- ・要介護認定または要支援認定を受けているかた
- ・障害者のかた

対象となる改修工事

工事費(自己負担分)が50万円を超え、次に該当する工事を行っていること。

- ・通路などの拡幅
- ・階段の勾配の緩和
- ・浴室の改良
- ・便所の改良
- ・手すりの取り付け
- ・床の段差の解消
- ・引き戸への取り替え
- ・床表面の滑り止め



減額内容

改修工事を行った住宅に対する、翌年の固定資産税を3分の1減額します。

※床面積100㎡相当分までを限度とします。

申告書の提出

改修工事が完了した日から3か月以内に、申告書と次の必要書類を税務課に提出してください。

必要な書類

- 住民票の写し
- 改修工事の領収書、明細書
- 改修工事を行った箇所の写真
- 要介護、要支援認定を受けているかた：介護保険被保険者証の写し
- 障害者のかた：身体障害者手帳、療育手帳などの写し

省エネ改修

家庭からのCO₂排出量の削減を図るため、省エネ改修を税制面で支援します。

対象となる家屋

平成20年1月1日以前に建築され、床面積が50㎡以上の住宅(賃貸住宅を除く)。

対象となる改修工事

工事費(自己負担分)が50万円を超え、次に該当する工事を行っていること。

- ①窓の断熱改修工事
- ②①の工事と併せて実施した次の工事
 - ・床の断熱工事
 - ・天井の断熱工事
 - ・壁の断熱工事
- ③改修部位が現行の省エネ基準に新たに適合することになるもの。

減額内容

改修工事を行った住宅に対する、翌年の固定資産税を3分の1減額します。

※床面積120㎡相当分までを限度とします。

申告書の提出

改修工事が完了した日から3か月以内に、申告書と次の必要書類を税務課に提出してください。

- 住民票の写し
- 改修工事の領収書、明細書
- 省エネ基準に適合することを証する書類(熱損失防止改修工事証明書)

※平成28年3月31日までに改修工事が完了した家屋は対象要件が異なります。



問合せ 税務課 課税担当 ☎62-1461

戸籍謄本や住民票の写し(本籍入り)などを第三者に交付した場合に、本人通知制度に登録したかたに対して、交付年月日、交付した証明書の種別、通数、第三者の種別を通知する「本人通知制度事前登録」を受け付けています。

登録できるかた
皆野町に住民登録や本籍のあるかた

登録には本人確認書類(免許証、パスポート、個人番号カードなど)が必要になります。

問合せ

町民生活課 戸籍住民担当
☎62-1232



戸籍・住民票
ストッパーが不正取得
登録しましょう!
本人通知制度